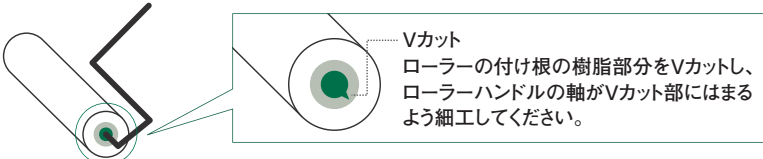


# 施工手順と取扱上の注意点

用途	新築(新設)の打ち放しコンクリート、プレキャストコンクリート、スレート、モルタル				
品番・荷姿		品番	内容量	タイプ	混合比
	上塗	ENW210T-0.5	0.5kg	1液	—
		ENW210T-2	2kg		
	中塗	ENW210MS-4	4kg セット	2液	主剤:硬化剤=100:4
		ENW210MS-16	16kg セット		
下塗 (シーラー)	ENW210U-3.2	3.2kg	1液	—	
	EN210U-12.5	12.5kg			
環境条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気温5~35℃、湿度85%以下の環境下で施工してください。</li> <li>・基材温度は50℃以下で施工してください。</li> <li>・雨の日の施工は絶対に避けてください。</li> <li>・気温が低く(約5℃)、かつ湿度が高い場合は塗膜乾燥が遅くなります。温風もしくは送風機等で乾燥を促進させてください。</li> <li>・施工後一定時間内(20℃:3時間以内、5℃:16時間以内)に雨が当たると雨ムラが発生する場合がありますので、十分に注意してください。(低温で湿度が高い場合は更に乾燥、硬化に時間がかかる場合があります。)</li> <li>(注)雨が降りそうになった場合は、施工を中止し、シート等で適正な養生を行ってください。</li> <li>・強風で塵埃の多い日の施工は避けてください。</li> <li>・被塗装面の含水率が10%以上ある場合や躯体に結露が発生する恐れがある場合の施工は避けてください。</li> </ul>				
工程	<p>※1 必要に応じて ※2 濡れ色が消えたことを確認してから2回目を塗装(追っかけ)</p>				
シーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング材はハイドロテクトクリアコートRCより先に施工してください。(先打ち)</li> <li>・シーリング表面では光触媒の効果は発揮されません。</li> <li>・シリコン系シーリングはシリコンオイルによる汚染がひどく、しかもハイドロテクトクリアコートRCとの密着性も悪いため使用は避けてください。ポリイソブチレン系、ポリサルファイド系、または変性シリコンシーリング材を予めご使用いただくか、打ち替えを推奨いたします。やむを得ずシリコン系シーリングを使用する場合は、設計上で水切りを考慮してください。</li> </ul>				
下塗 (シーラー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気温、湿度、基材表面温度および塗面の乾燥を確認してください。</li> <li>・塗膜厚を確保するために、吸い込みの激しい基材の場合は標準より多めに塗布してください。(0.15kg~0.22kg/m<sup>2</sup>) (2回合計使用量)</li> <li><b>塗装方法</b></li> <li>・必ず2回塗装してください。2回目の塗装は、1回目の塗装の濡れ色が完全になくなっていることを確認した上で施工してください。(追っかけ2回塗)</li> <li>・希釈はしないでください。</li> <li>・施工はローラーおよびハケを使ってください。</li> </ul>				
中塗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気温、湿度、基材表面温度および塗面の乾燥を確認してください。</li> <li><b>攪拌</b></li> <li>・中塗材は2液タイプです。ご使用前は必ず主剤と硬化剤を適正配合で混合し、マゼラー等で沈殿物が無いように十分攪拌してください。</li> <li>・希釈はしないでください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(注)マゼラーを使わない場合は主剤に硬化剤を少しずつ混ぜながら投入してください。手で混ぜると完全に混ざるまで数分かかります。一気に投入すると混ざり難くなる場合があります。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>塗装方法</b></li> <li>・中塗材は指定の塗装間隔(20℃:3時間以上)を守り、標準塗布量を参考に必ず2回塗装してください。中塗材1回目と2回目の最短塗装間隔は、5℃:5時間以上、20℃以上:3時間以上です。</li> <li>・ローラーは、無泡タイプの中毛ローラーをご使用ください。</li> <li>・一度、開封された中塗材は、4時間以内(混合後)に使い切ってください。4時間以上経過したものは絶対に使わないでください。</li> <li><b>保管</b></li> <li>・未開封の中塗材は製造後6ヶ月以内に使用してください。</li> <li>・開封後、未使用分を保管する場合は、必ず空気との接触を避けるようマスキングテープ等で密封し保管してください。</li> <li>・開封した中塗材について <ul style="list-style-type: none"> <li>■混合後…4時間以内に使い切ってください。4時間以上経過したものは絶対に使わないでください。</li> <li>■混合前…2週間以内に使用してください。他用途への流用はしないでください。</li> </ul> </li> <li>・夏場は風通しの良い日陰などで保管してください。保管状態が悪いと粘性が高くなります。(正常な粘性はホットケーキの生地のように中塗材が連続して流れ落ちます。)</li> </ul>				

<p style="text-align: center;">上塗</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上塗材には青色着色していますが塗装後、乾燥とともに無色になります。</li> <li>・気温、湿度により青色が消滅する時間が変わります。</li> <li>・完全硬化する前に雨が当たると青色が出てくる場合がありますが、完全硬化とともに消滅します。</li> </ul> <p><b>塗装方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラーで塗装する場合は無泡ローラーをご使用ください。(推奨品:大塚刷毛製造(株) 無泡ローラー EB-6S・6インチ)</li> <li>・上塗材は粘性が低い(水と同等)必ず“しごき板”をご用意ください。しごき板でローラーに含まれた上塗材を十分にしごいた後に塗装してください。しごきが不足していると液ダレします。液ダレをそのまま放置すると黄変します。(“しごき板”は別売品として当社で準備しています。〈品番:EXPP〉)</li> <li>・ローラーを回転させた場合、気泡が発生しますが数秒で消滅します。</li> <li>・平滑面をローラーで塗装する場合はローラーを回転させずに固定して塗装ください。 ローラー固定用ハンドル(推奨品:大塚刷毛製造(株) ストッパー付スモールハンドル角短)</li> <li>・市販のローラー固定用ハンドルが入手できない場合はローラー樹脂部をニッパを用いてVカットし、固定してください。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>(カット時にケガをしないようご注意ください)</p> </div> </div> <p><b>保管方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未開封の上塗材は製造後6ヶ月以内にご使用ください。一度、開封された上塗材は、2週間以内に使い切り、他の現場への流用は絶対に避けて下さい。</li> <li>・夏場は風通しの良い日陰などで保管ください。保管状態が悪いと性能が十分に発揮されない場合があります。</li> </ul>
---------------------------------------	---

<p style="text-align: center;">注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハイドロテクトクリアコートRCは新築(新設)専用です。既存建物の外壁にはご使用いただけませんのでご了承ください。</li> <li>● コンクリート下地の調整に、撥水系材料はご使用できません。下地調整はモルタル、樹脂モルタル、カラーセメントまたはアクリル樹脂系塗料とモルタルの調合品をご使用ください。</li> <li>● 薄膜のクリアコートですので、仕上がりはコンクリートの風合いが、ほぼそのまま維持されますが、光線の条件によってコート面の艶や色の感じが異なって見えることがあります。</li> <li>● シリコン系シーリングはシリコンオイルによる汚染がひどく、しかもハイドロテクトクリアコートRCとの密着性も悪いため使用は避けてください。ポリイソブチレン系、ポリサルファイド系、または変性シリコンシーリング材を予めご使用いただくか、打ち替えを推奨いたします。やむを得ずシリコン系シーリングを使用する場合は、設計上で水切りを考慮してください。</li> <li>● 赤錆、白錆、緑青など錆汚れには効果がありません。別途、防錆処理を行ってください。</li> <li>● 傾斜壁の下端部、下向き面、笠木等で水切りのない部位、排気口周辺など汚れの負荷が大きい場合、防汚効果が十分に発揮されない場合があります。</li> </ul>
---	--

# 安全衛生上の注意

ハイドロテクトクリアコートRCの塗装作業に関する安全衛生上の注意事項です。

作業前に必ずお読み下さい。

作業前	<ul style="list-style-type: none"><li>・本品は業者専用品です。塗料としての用途以外には使用しないでください。</li><li>・指定された以外の材料と混合しないでください。</li></ul>
作業場所	<ul style="list-style-type: none"><li>・塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭気なくなるまでは、時々換気をしてください。</li><li>・居住者、隣家、車両等へ塗料ミスト・臭い・蒸気等が飛散しない塗装方法を選択するとともに十分な養生を行ってください。</li></ul>
作業時	<ul style="list-style-type: none"><li>・取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスクをつけ、さらに保護眼鏡、頭巾、保護手袋、長袖の作業着、襟巻きタオル、前掛等を着用してください。</li><li>・衣服等に付着した場合は、直ちにその汚れを良く落としてください。</li><li>・容器をみだりに転倒させる、落下させる、衝撃を加える、また引きずる等の粗暴な行為をしないでください。</li><li>・塗料を出した際は、その都度フタをしてください。</li><li>・容器から塗料がこぼれた場合にはすべり、流出の危険がありますので直ちにふき取ってください。</li><li>・取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。</li><li>・取扱い時、保管時は熱源や火花から隔離してください。引火性があります。(下塗材のみ)</li><li>・火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。(下塗材のみ)</li></ul>
保管時	<ul style="list-style-type: none"><li>・容器はフタをすするとともに直射日光、高温(40℃以上)、高湿を避け、火災、腐食、凍結(0℃以下)等の恐れのないところに保管してください。一度凍結した塗料は使用しないでください。</li><li>・子供や部外者の出入りしないところに保管してください。</li></ul>
廃棄時	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃塗料、廃容器、洗浄水、洗浄容器、ハケ・ローラー等は各都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。(排水溝、地面、河川などには流さないでください)</li></ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"><li>・目に入った場合には直ちに多量の清水で15分以上洗浄し、できるだけ早く医師の診察を受けてください。</li><li>・皮膚に付着した場合は直ちに多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に異常のある場合は速やかに医師の診察を受けてください。</li><li>・臭いを吸って気分が悪くなった時は、空気の清浄なところで安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。</li><li>・誤って飲み込んだ時は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。</li></ul>

※詳しくは、各容器に貼付してあるラベルをご確認ください。